

しんきん海外ソブリン債セレクション

欧州ソブリン債ポートフォリオ/米国ソブリン債ポートフォリオ/ 欧米ソブリン債ポートフォリオ

追加型投信/海外/債券

交付運用報告書

第85期(決算日2024年8月15日)

第86期(決算日2024年11月15日)

作成対象期間(2024年5月16日~2024年11月15日)

欧州ソブリン債ポートフォリオ

第86期末(2024年11月15日)	
基準価額	9,552円
純資産総額	210百万円
第85期~第86期	
騰落率	0.2%
分配金(税込み)合計	90円

欧米ソブリン債ポートフォリオ

第86期末(2024年11月15日)	
基準価額	10,439円
純資産総額	536百万円
第85期~第86期	
騰落率	1.1%
分配金(税込み)合計	90円

米国ソブリン債ポートフォリオ

第86期末(2024年11月15日)	
基準価額	11,622円
純資産総額	314百万円
第85期~第86期	
騰落率	2.1%
分配金(税込み)合計	90円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん海外ソブリン債セレクション」は2024年11月15日に第86期の決算を行いました。

当ファンドは、ユーロ参加国の国債、米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行っています。

ここに、第85期から第86期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド各種資料」において運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

<コールセンター> ☎ 0120-781812

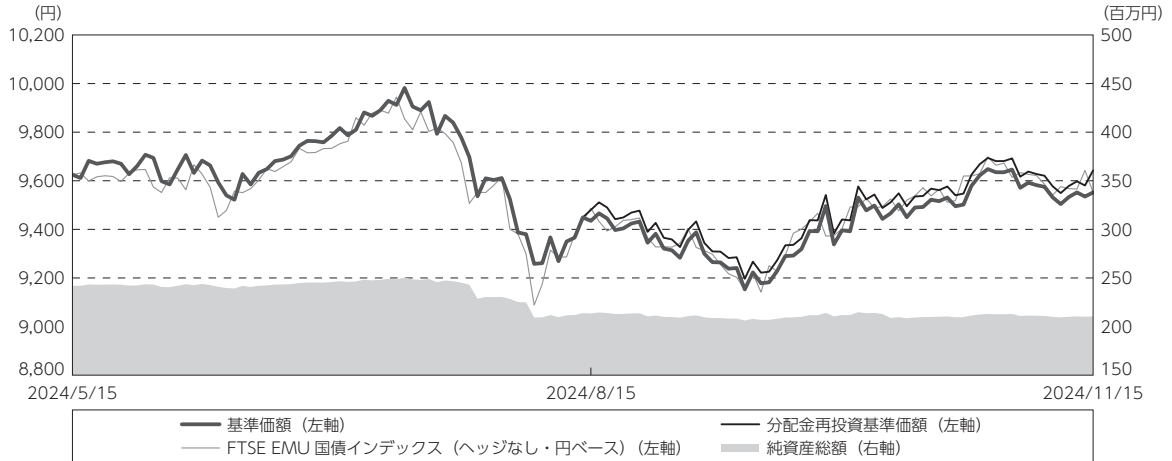
(土日、休日を除く) 携帯電話からは03-5524-8181
9:00~17:00

欧州ソブリン債ポートフォリオ

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年5月16日～2024年11月15日)



第85期首：9,625円

第86期末：9,552円 (既払分配金(税込み)：90円)

騰落率：0.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2024年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注) ベンチマークは、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。詳細は5ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

当ポートフォリオは、FTSE EMU 国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

	前作成期間末基準価額	9,625円	
要因	外国債券	キャピタル	193円
		インカム	116円
	為替		△237円
	小計		72円
	分配金	△90円	
	その他変動要因（信託報酬含む）	△55円	
	当作成期間末基準価額	9,552円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益（評価損益含む）、インカムとは利息等による収益です。

<上昇要因>

- ・欧州中央銀行（ECB）が年内に複数回の利下げを行うという観測が市場で高まっていたことや、その後実際に利下げを開始したこと等を背景に、欧州国債金利が低下し、欧州債券価格が上昇したこと。

<下落要因>

- ・日本政府・日銀による米ドル売り為替介入や政策金利の引上げなどにより、日本円が各主要国通貨に対して上昇したこと。
- ・ドイツの堅調な経済指標を受け、ECBによる利下げペースが遅れるとの観測が市場で高まり、欧州国債金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2024年5月16日～2024年11月15日)

項 目	第85期～第86期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	50	0.527	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(21)	(0.222)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.277)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.025	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	52	0.552	
作成期間の平均基準価額は、9,527円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

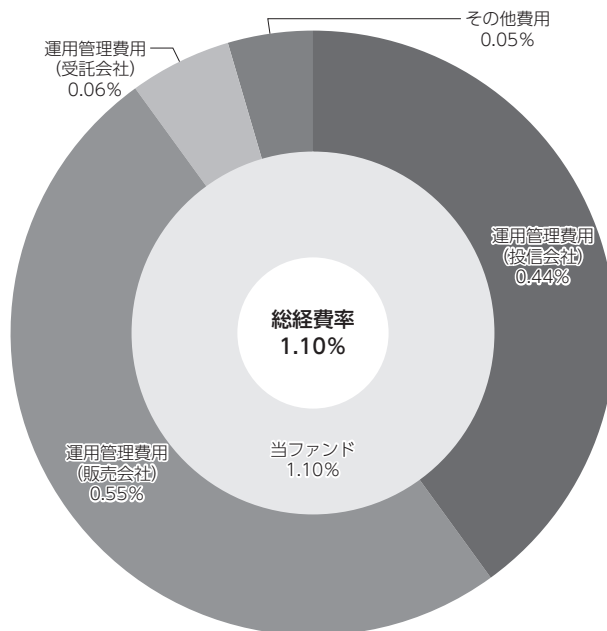
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.10%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

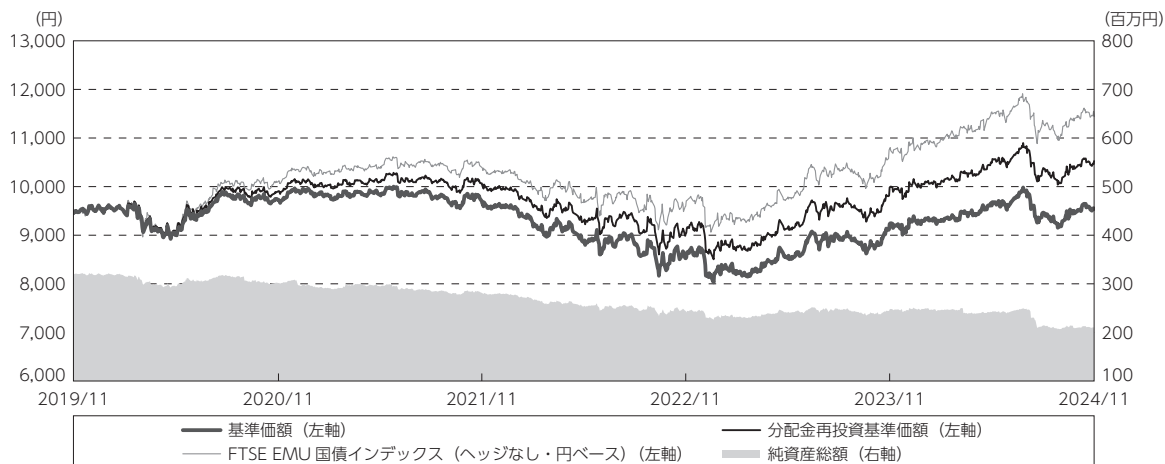
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年11月15日～2024年11月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、2019年11月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2019年11月15日 決算日	2020年11月16日 決算日	2021年11月15日 決算日	2022年11月15日 決算日	2023年11月15日 決算日	2024年11月15日 決算日
基準価額 (円)	9,450	9,720	9,699	8,524	9,231	9,552
期間分配金合計(税込み) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.8	1.6	△ 10.3	10.5	5.5
FTSE EMU国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)騰落率 (%)	—	7.0	2.8	△ 7.7	12.3	6.2
純資産総額 (百万円)	318	301	281	244	247	210

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) ベンチマークは、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。

●ベンチマークに関して

- ※「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。
- ※「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

投資環境

(2024年5月16日～2024年11月15日)

(欧州債券市況)

当作成期初は、フランスの政局不安等の影響を受け、欧州国債金利が上下する場面もありましたが、2024年6月のECB政策理事会において政策金利の引下げが決定され、その後もECBが年内に複数回の追加利下げを実施するとの期待が市場で高まったことを背景に、欧州国債金利は低下基調で推移しました。実際に、9月と10月のECB政策理事会で連続して追加利下げが決定されましたが、既に市場で予想されていた範囲であったことから、いずれも市場の反応は限定的なものになりました。その後は、10月のドイツ消費者物価指数(CPI)速報値の前年同月比の伸びや、ドイツの第3四半期の実質国内総生産(GDP)速報値が市場予想を上回り、ドイツの景気後退の回避が示唆されたこと等を受けて、欧州国債金利は上昇しました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当作成期初から2024年7月にかけては、日欧金利差を背景にユーロ高円安基調で推移していましたが、その後は上記要因等を受けて欧州国債金利が低下したことや、7月の日本政府・日銀による2度の米ドル売り為替介入で進行した米ドル安円高の影響を受けたこと、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決定したこと等を背景に大きくユーロ安円高に推移しました。しかし、9月中旬以降は上記要因等を受けて欧州国債金利が上昇したことや、石破茂首相が日銀の金融政策について「追加の利上げをするような環境にあるとは考えていない」と発言したこと、衆議院選挙で与党の過半数割れという今後の日本の金融政策や財政政策の不確実性を高める結果になったこと等を受けて、ユーロ高円安基調で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年5月16日～2024年11月15日)

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、オーストリア、フィンランドおよびアイルランドの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2024年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーション(金利感応度)は7.15年、時価最終利回りは2.79%となっています。

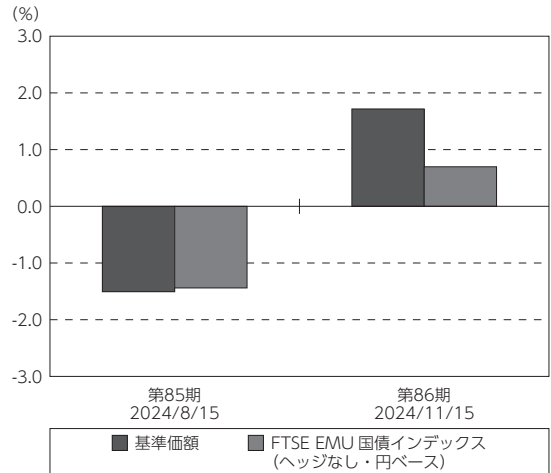
当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年5月16日～2024年11月15日)

当作成期の基準価額の騰落率(分配金再投資ベース)は+0.2%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は△0.8%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。詳細は5ページをご参照ください。

分配金

(2024年5月16日～2024年11月15日)

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第85期、第86期は、1万口当たり45円(税込み)としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第85期	第86期
	2024年5月16日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年11月15日
当期分配金	45	45
(対基準価額比率)	0.475%	0.469%
当期の収益	29	45
当期の収益以外	15	—
翌期繰越分配対象額	2,864	2,869

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU 国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

お知らせ

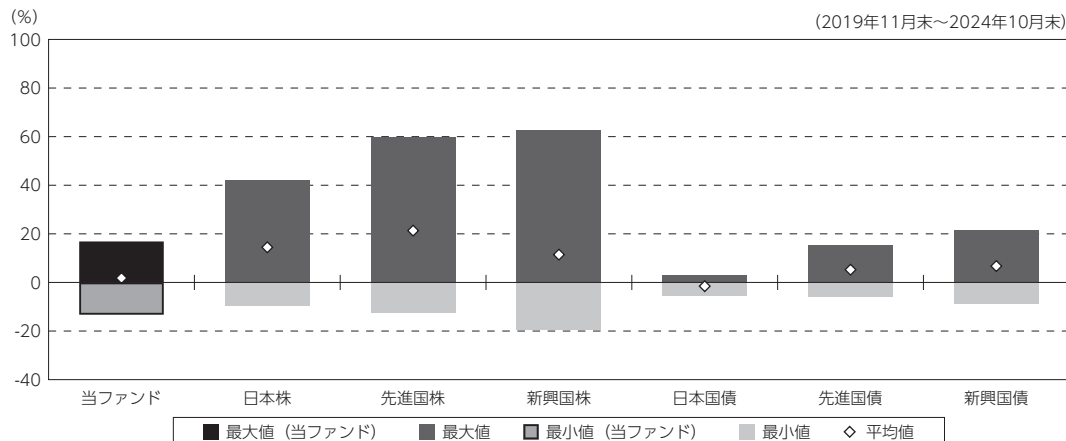
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	しんきん欧州ソブリン債 マザーファンド	EMU（欧州経済通貨同盟）参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
運用方法	ユーロ参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行っています。	
分配方針	分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	16.9	42.1	59.8	62.7	2.9	15.3	21.5
最小値	△ 13.3	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	1.8	14.5	21.3	11.4	△ 1.5	5.2	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年11月から2024年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、34ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年11月15日現在)

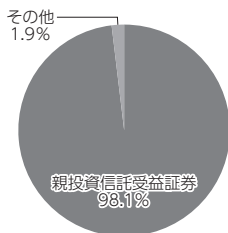
○組入上位ファンド

銘柄名	第86期末
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	98.1%
組入銘柄数	1銘柄

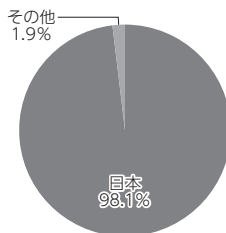
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

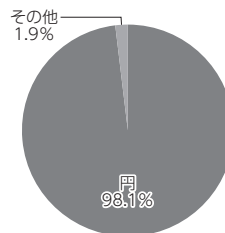
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

純資産等

項目	第85期末	第86期末
	2024年8月15日	2024年11月15日
純資産総額	213,468,656円	210,504,923円
受益権総口数	226,248,556口	220,379,400口
1万口当たり基準価額	9,435円	9,552円

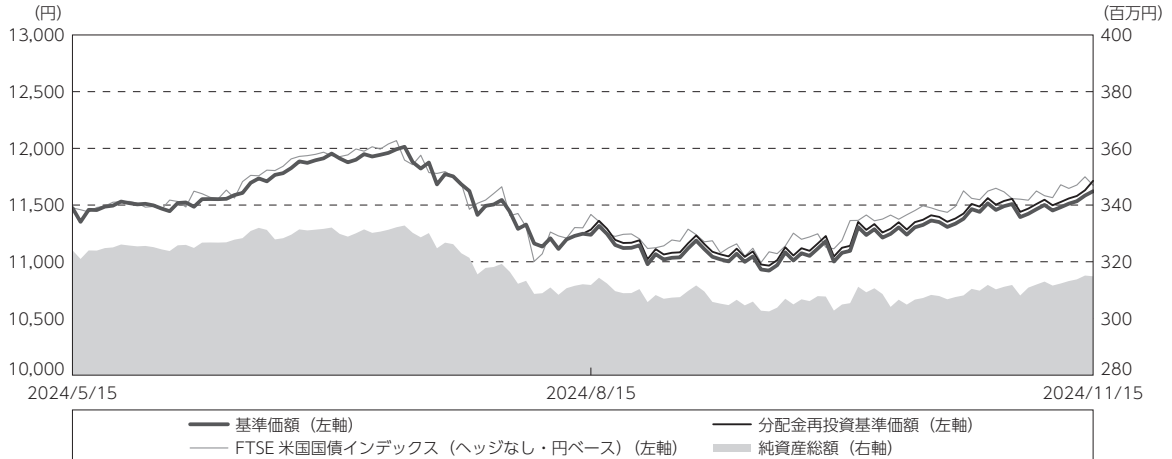
(注) 当作成期間(第85期~第86期)中における追加設定元本額は2,693,755円、同解約元本額は33,637,805円です。

米国ソブリン債ポートフォリオ

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年5月16日～2024年11月15日)



第85期首：11,475円

第86期末：11,622円 (既払分配金(税込み)：90円)

騰落率：2.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2024年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注) ベンチマークは、FTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。詳細は15ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

当ポートフォリオは、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

	前作成期間末基準価額		11,475円
要因	外国債券	キャピタル	135円
		インカム	152円
	為替		18円
	小計		305円
分配金			△90円
その他変動要因（信託報酬含む）			△68円
	当作成期間末基準価額		11,622円

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益（評価損益含む）、インカムとは利息等による収益です。

<上昇要因>

- ・2024年9月頃まで、米国の各経済指標がインフレの鎮静化傾向を示したことで、米連邦準備制度理事会（F R B）による年内大幅利下げへの観測が高まり、米国債金利が低下し、米国債券価格が上昇したこと。
- ・10月以降、9月の米雇用統計の堅調な結果や、トランプ氏の次期大統領当選等を受け、F R Bによる利下げペースが遅れるとの観測が市場で高まったこと等を背景に、米国債金利が上昇し、米ドルが上昇したこと。

<下落要因>

- ・2024年7月から9月にかけて、日本政府・日銀による米ドル売り為替介入や政策金利の引上げなどにより、米ドルが日本円に対して大きく下落したこと。
- ・10月以降、上記要因等を背景に、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2024年5月16日～2024年11月15日)

項 目	第85期～第86期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	60	0.527	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(25)	(0.222)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.277)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	62	0.541	
作成期間の平均基準価額は、11,398円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

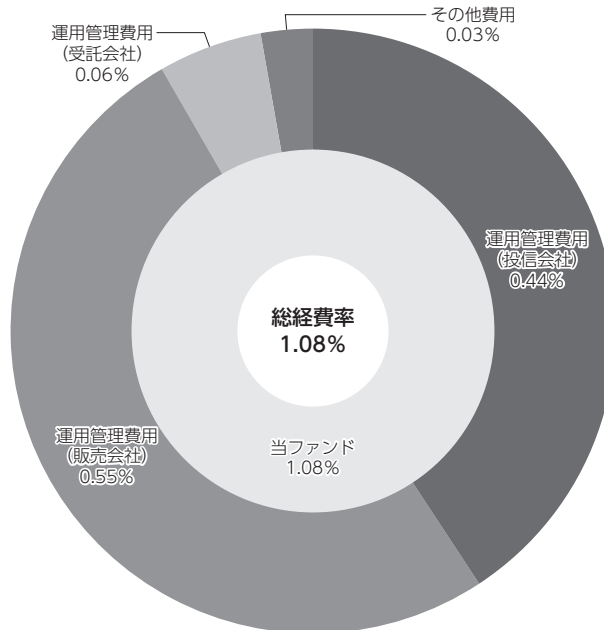
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

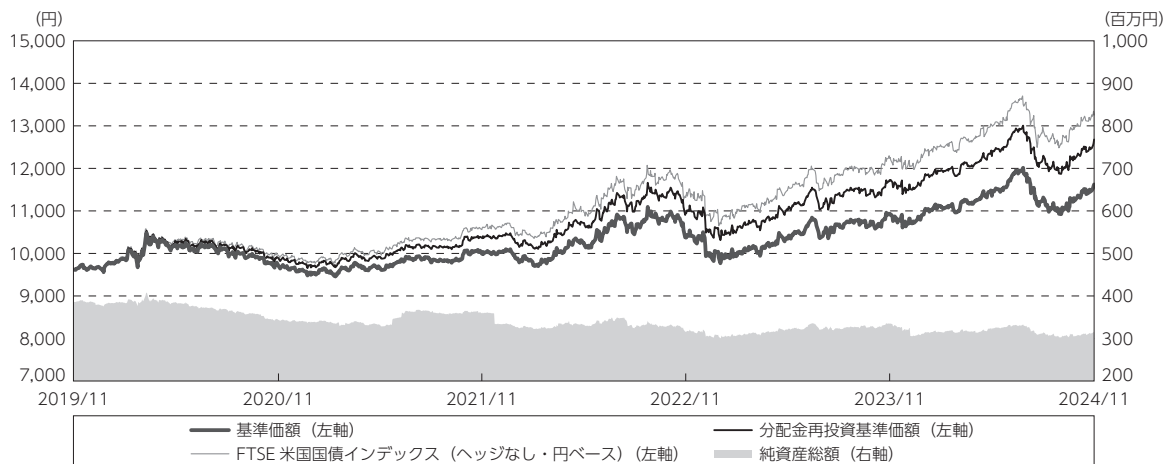
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年11月15日～2024年11月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびFTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、2019年11月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2019年11月15日 決算日	2020年11月16日 決算日	2021年11月15日 決算日	2022年11月15日 決算日	2023年11月15日 決算日	2024年11月15日 決算日
基準価額 (円)	9,617	9,710	9,995	10,379	10,919	11,622
期間分配金合計(税込み) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.8	4.9	5.7	7.0	8.1
FTSE米国国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)騰落率 (%)	—	3.5	6.1	7.1	8.2	8.3
純資産総額 (百万円)	385	343	359	316	334	314

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
 (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) ベンチマークは、FTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。

●ベンチマークに関して

- ※「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。
 ※「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
 ※「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
 ※上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

投資環境

(2024年5月16日～2024年11月15日)

(米国国債市況)

当作成期初は、米国の各経済指標がインフレの鎮静化傾向を示したことで、年内にF R Bによる政策金利の大幅な引下げが行われるとの観測が市場で高まり、米国債金利は低下基調で推移しました。2024年7月の米連邦公開市場委員会（F O M C）で、パウエルF R B議長が9月の利下げを示唆したことで、米国債金利はさらに低下しました。9月のF O M Cでは、F R Bにより0.5%の利下げが決定されましたが、既に市場で予想されていた範囲であったことから、米国債金利は下げ止まりました。その後は、9月の米雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を上回り、米国経済の強さが示唆されたことや、米大統領選挙で関税引上げや不法移民制限などインフレの再加速が懸念される経済政策を掲げるトランプ氏が次期大統領に当選したこと等を背景に、米国債金利は上昇に転じました。

(為替市況：ドル円市場)

当作成期初から2024年7月にかけては、日米金利差を背景に米ドル高円安基調で推移していましたが、その後は上記要因等を受けて米国債金利が低下したことや、7月の日本政府・日銀による2度の為替介入があったこと、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決定したこと等を背景に、大きく米ドル高円安に推移しました。しかし、9月中旬以降は上記要因等を受けて米国債金利が上昇したことや、石破茂首相が日銀の金融政策について「追加の利上げをするような環境にあるとは考えていない」と発言したこと、衆議院選挙で与党の過半数割れという今後の日本の金融政策や財政政策の不確実性を高める結果になったこと等を受けて、米ドル高円安基調で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年5月16日～2024年11月15日)

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2024年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは5.84年、時価最終利回りは4.47%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：I B R D）、米州開発銀行（I A D B）、アジア開発銀行（A D B）発行の債券を組み入れています。

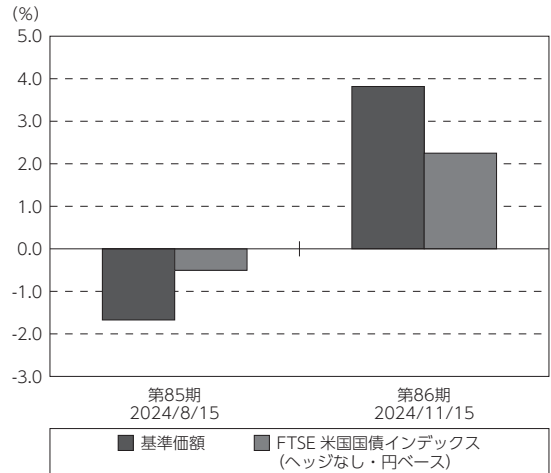
当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年5月16日～2024年11月15日)

当作成期の基準価額の騰落率(分配金再投資ベース)は+2.1%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+1.7%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。詳細は15ページをご参照ください。

分配金

(2024年5月16日～2024年11月15日)

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第85期、第86期は、1万口当たり45円(税込み)としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第85期	第86期
	2024年5月16日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年11月15日
当期分配金	45	45
(対基準価額比率)	0.399%	0.386%
当期の収益	45	45
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	4,297	4,444

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

お知らせ

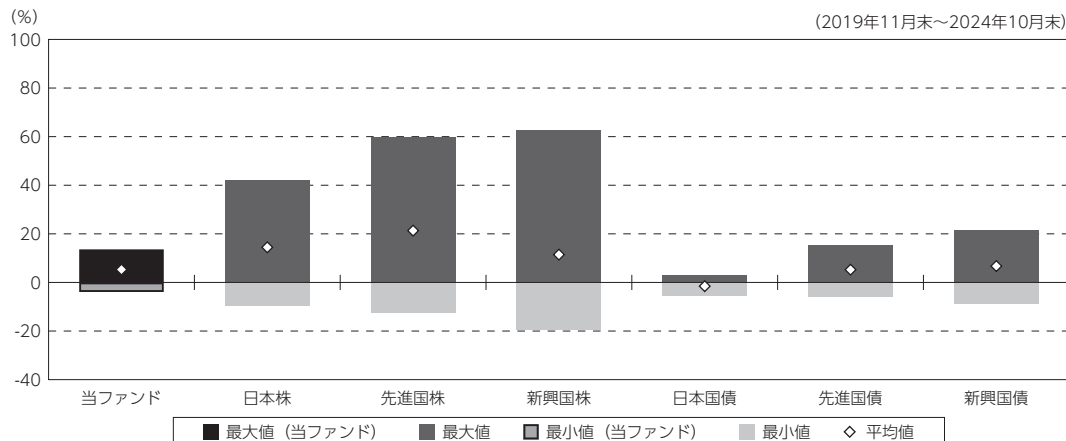
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	米国ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	しんきん米国ソブリン債 マザーファンド	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
運用方法	米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行っています。	
分配方針	分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	13.6	42.1	59.8	62.7	2.9	15.3	21.5
最小値	△ 3.9	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.3	14.5	21.3	11.4	△ 1.5	5.2	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年11月から2024年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、34ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年11月15日現在)

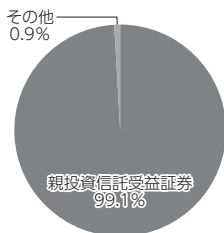
○組入上位ファンド

銘柄名	第86期末
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	99.1%
組入銘柄数	1銘柄

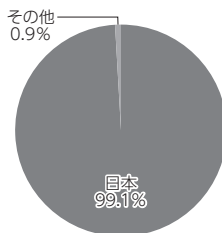
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

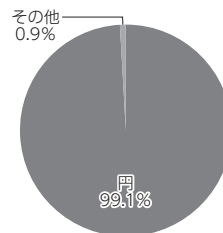
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

純資産等

項目	第85期末	第86期末
	2024年8月15日	2024年11月15日
純資産総額	311,807,865円	314,878,893円
受益権総口数	277,456,596口	270,928,172口
1万口当たり基準価額	11,238円	11,622円

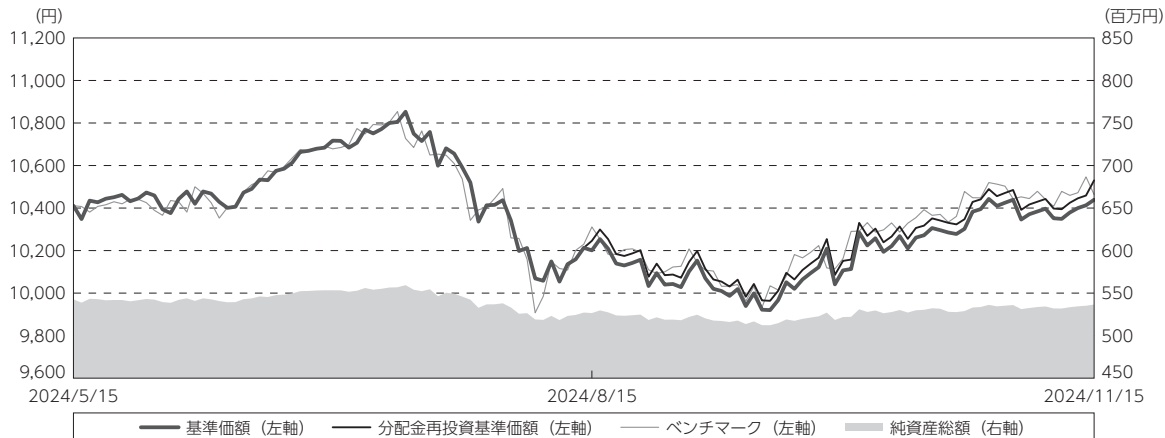
(注) 当作成期間(第85期~第86期)中における追加設定元本額は7,678,374円、同解約元本額は19,163,384円です。

欧米ソブリン債ポートフォリオ

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年5月16日～2024年11月15日)



第85期首：10,411円

第86期末：10,439円 (既払分配金(税込み)：90円)

騰落率： 1.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首(2024年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
- (注) ベンチマークは、FTSE EMU 国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)とFTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)との合成指数です。詳細は25ページをご参照ください。

○基準価額の主な変動要因

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるよう運用を行っています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

	前作成期間末基準価額	10,411円	
要因	外国債券	キャピタル	168円
		インカム	133円
	為替	ドル	8円
		ユーロ	△131円
	小計	178円	
分配金	△90円		
その他変動要因（信託報酬含む）	△60円		
	当作成期間末基準価額	10,439円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。

※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益（評価損益含む）、インカムとは利息等による収益です。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・欧州中央銀行（ECB）が年内に複数回の利下げを行うという観測が市場で高まっていたことや、その後実際に利下げを開始したこと等を背景に、欧州国債金利が低下し、欧州債券価格が上昇したこと。

<下落要因>

- ・日本政府・日銀による米ドル売り為替介入や政策金利の引上げなどにより、日本円が各主要国通貨に対して上昇したこと。
- ・ドイツの堅調な経済指標を受け、ECBによる利下げペースが遅れるとの観測が市場で高まり、欧州国債金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

<上昇要因>

- ・2024年9月頃まで、米国の各経済指標がインフレの鎮静化傾向を示したことで、米連邦準備制度理事会（FRB）による年内大幅利下げへの観測が高まり、米国債金利が低下し、米国債券価格が上昇したこと。
- ・10月以降、9月の米雇用統計の堅調な結果や、トランプ氏の次期大統領当選等を受け、FRBによる利下げペースが遅れるとの観測が市場で高まったこと等を背景に、米国債金利が上昇し、米ドルが上昇したこと。

<下落要因>

- ・2024年7月から9月にかけて、日本政府・日銀による米ドル売り為替介入や政策金利の引上げなどにより、米ドルが日本円に対して大きく下落したこと。
- ・10月以降、上記要因等を背景に、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2024年5月16日～2024年11月15日)

項 目	第85期～第86期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 54	% 0.527	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(23)	(0.222)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.277)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.020	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	56	0.547	
作成期間の平均基準価額は、10,323円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

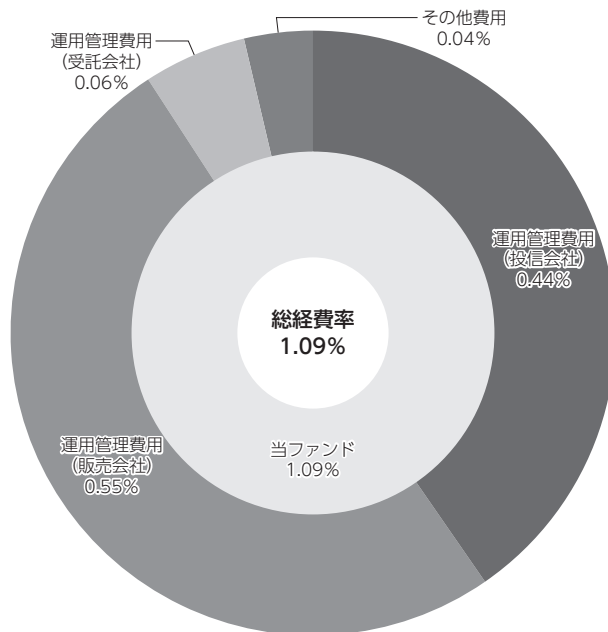
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.09%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

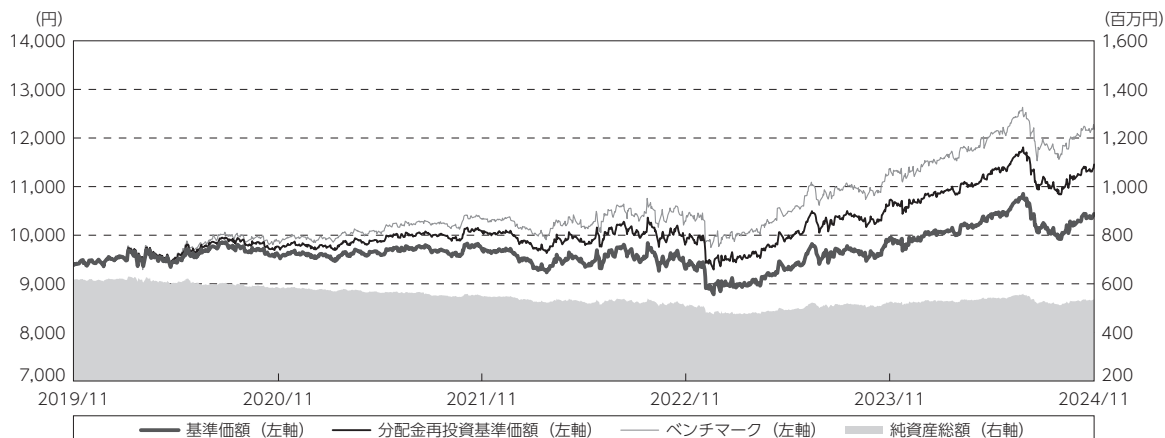
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年11月15日～2024年11月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2019年11月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2019年11月15日 決算日	2020年11月16日 決算日	2021年11月15日 決算日	2022年11月15日 決算日	2023年11月15日 決算日	2024年11月15日 決算日
基準価額 (円)	9,383	9,582	9,714	9,307	9,942	10,439
期間分配金合計(税込み) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.1	3.3	△ 2.3	8.9	6.9
ベンチマーク騰落率 (%)	—	5.3	4.5	△ 0.4	10.3	7.3
純資産総額 (百万円)	616	583	549	506	525	536

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
 (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) ベンチマークは、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)とFTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)との合成指数です。

●ベンチマークに関して

※ベンチマークはFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)を50%、FTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)を50%の配分比率で算出した合成指数(設定日2003年7月1日を10,000として指数化)です。

FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)

※「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

投資環境

(2024年5月16日～2024年11月15日)

(欧州債券市況)

当作成期初は、フランスの政局不安等の影響を受け、欧州国債金利が上下する場面もありましたが、2024年6月のECB政策理事会において政策金利の引下げが決定され、その後もECBが年内に複数回の追加利下げを実施すると期待が市場で高まったことを背景に、欧州国債金利は低下基調で推移しました。実際に、9月と10月のECB政策理事会で連続して追加利下げが決定されましたが、既に市場で予想されていた範囲であったことから、いずれも市場の反応は限定的なものになりました。その後は、10月のドイツ消費者物価指数(CPI)速報値の前年同月比の伸びや、ドイツの第3四半期の実質国内総生産(GDP)速報値が市場予想を上回り、ドイツの景気後退の回避が示唆されたこと等を受けて、欧州国債金利は上昇しました。

(米国国債市況)

当作成期初は、米国の各経済指標がインフレの鎮静化傾向を示したことで、年内にFRBによる政策金利の大幅な引下げが行われるとの観測が市場で高まり、米国債金利は低下基調で推移しました。2024年7月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で、パウエルFRB議長が9月の利下げを示唆したことで、米国債金利はさらに低下しました。9月のFOMCでは、FRBにより0.5%の利下げが決定されましたが、既に市場で予想されていた範囲であったことから、米国債金利は下げ止まりました。その後は、9月の米雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を上回り、米国経済の強さが示唆されたことや、米大統領選挙で関税上げや不法移民制限などインフレの再加速が懸念される経済政策を掲げるトランプ氏が次期大統領に当選したこと等を背景に、米国債金利は上昇に転じました。

(為替市況：ユーロ円市場)

当作成期初から2024年7月にかけては、日欧金利差を背景にユーロ高円安基調で推移していましたが、その後は上記要因等を受けて欧州国債金利が低下したことや、7月の日本政府・日銀による2度の米ドル売り為替介入で進行した米ドル安円高の影響を受けたこと、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決定したこと等を背景に大きくユーロ安円高に推移しました。しかし、9月中旬以降は上記要因等を受けて欧州国債金利が上昇したことや、石破茂首相が日銀の金融政策について「追加の利上げをするような環境にあるとは考えていない」と発言したこと、衆議院選挙で与党の過半数割れという今後の日本の金融政策や財政政策の不確実性を高める結果になったこと等を受けて、ユーロ高円安基調で推移しました。

(為替市況：ドル円市場)

当作成期初から2024年7月にかけては、日米金利差を背景に米ドル高円安基調で推移していましたが、その後は上記要因等を受けて米国債金利が低下したことや、7月の日本政府・日銀による2度の為替介入があったこと、7月の日銀金融政策決定会合で日銀が政策金利の引上げを決定したこと等を背景に、大きく米ドル安円高に推移しました。しかし、9月中旬以降は上記要因等を受けて米国債金利が上昇したことや、石破茂首相が日銀の金融政策について「追加の利上げをするような環境にあるとは考えていない」と発言したこと、衆議院選挙で与党の過半数割れという今後の日本の金融政策や財政政策の不確実性を高める結果になったこと等を受けて、米ドル高円安基調で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年5月16日～2024年11月15日)

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、オーストリア、フィンランドおよびアイルランドの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2024年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は7.15年、時価最終利回りは2.79%となっています。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE 米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2024年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは5.84年、時価最終利回りは4.47%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

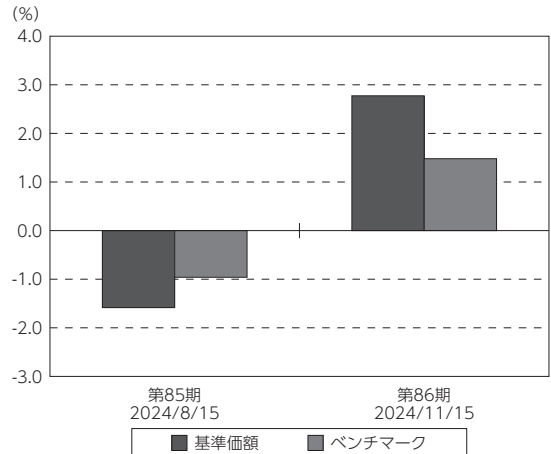
当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年5月16日～2024年11月15日)

当作成期の基準価額の騰落率(分配金再投資ベース)は+1.1%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+0.5%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークの詳細は25ページをご参照ください。

分配金

(2024年5月16日～2024年11月15日)

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第85期、第86期は、1万口当たり45円(税込み)としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第85期	第86期
	2024年5月16日～ 2024年8月15日	2024年8月16日～ 2024年11月15日
当期分配金	45	45
(対基準価額比率)	0.439%	0.429%
当期の収益	38	45
当期の収益以外	6	—
翌期繰越分配対象額	1,680	1,695

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整し運用を行っていきます。

●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU 国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE 米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

お知らせ

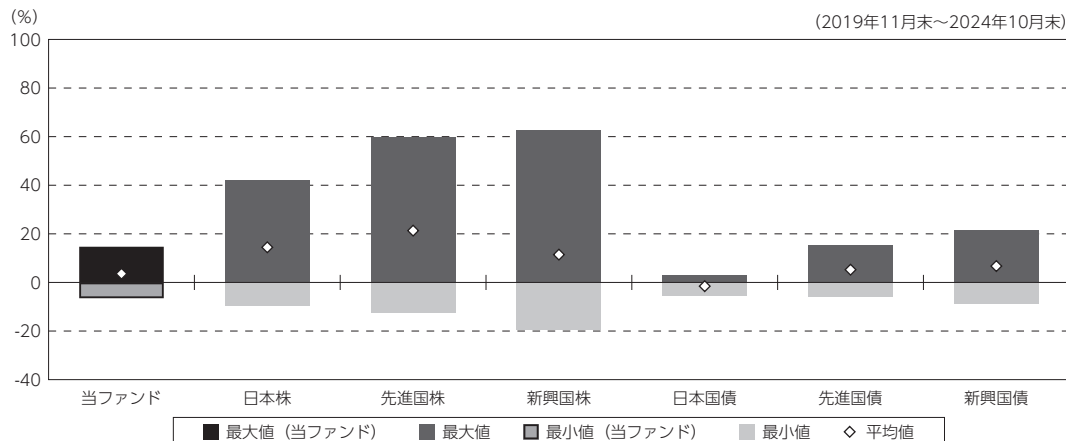
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	欧米ソブリン債ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」および「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、各受益証券の基本組入比率は原則50%：50%とします。
	しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	EMU（欧州経済通貨同盟）参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
	しんきん米国ソブリン債マザーファンド	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
運用方法	ユーロ参加国の国債、米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行っています。	
分配方針	分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	14.7	42.1	59.8	62.7	2.9	15.3	21.5
最小値	△ 6.5	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	3.6	14.5	21.3	11.4	△ 1.5	5.2	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年11月から2024年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、34ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年11月15日現在)

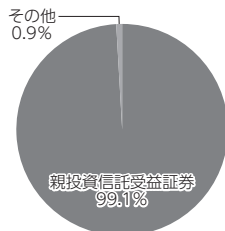
○組入上位ファンド

銘柄名	第86期末
	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	49.6
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	49.5
組入銘柄数	2銘柄

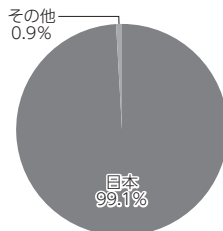
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

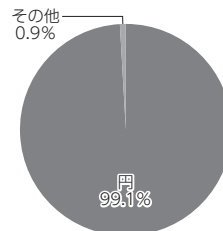
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

純資産等

項目	第85期末	第86期末
	2024年8月15日	2024年11月15日
純資産総額	526,526,482円	536,544,609円
受益権総口数	516,142,702口	513,961,904口
1万口当たり基準価額	10,201円	10,439円

(注) 当作成期間(第85期~第86期)中における追加設定元本額は3,973,481円、同解約元本額は11,190,221円です。

組入上位ファンドの概要

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年2月9日～2024年2月8日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	7	0.043
(保 管 費 用)	(7)	(0.043)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	7	0.043

期中の平均基準価額は、16,512円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

【組入上位10銘柄】

(2024年2月8日現在)

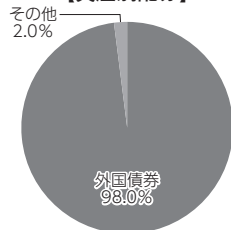
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 DBR 4.000 01/04/37	国債証券	ユーロ	ドイツ	4.7%
2 DBR 4.750 07/04/34	国債証券	ユーロ	ドイツ	4.5%
3 FRTR 2.750 10/25/27	国債証券	ユーロ	フランス	3.9%
4 SPGB 0.800 07/30/29	国債証券	ユーロ	スペイン	3.9%
5 FRTR 4.000 10/25/38	国債証券	ユーロ	フランス	3.8%
6 SPGB 4.700 07/30/41	国債証券	ユーロ	スペイン	3.6%
7 DBR 1.700 08/15/32	国債証券	ユーロ	ドイツ	3.5%
8 SPGB 4.200 01/31/37	国債証券	ユーロ	スペイン	3.4%
9 FRTR 3.250 05/25/45	国債証券	ユーロ	フランス	3.4%
10 SPGB 1.950 07/30/30	国債証券	ユーロ	スペイン	3.3%
組入銘柄数	48銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

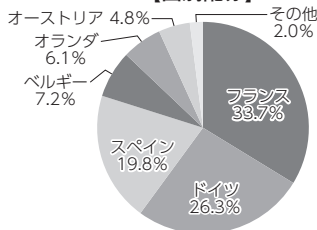
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

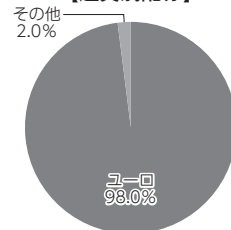
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

しんきん米国ソブリン債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年2月9日～2024年2月8日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	5	0.024
(保 管 費 用)	(5)	(0.023)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	5	0.024

期中の平均基準価額は、20,302円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

【組入上位10銘柄】

(2024年2月8日現在)

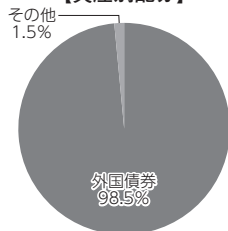
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
1 T-NOTE 2.875 05/31/25	国債証券	米ドル	米国	5.3
2 T-NOTE 2.000 08/15/25	国債証券	米ドル	米国	5.0
3 ASIA 1.875 01/24/30	特殊債券	米ドル	国際機関	4.9
4 T-NOTE 2.250 11/15/25	国債証券	米ドル	米国	4.6
5 T-NOTE 1.125 01/15/25	国債証券	米ドル	米国	4.3
6 T-BOND 3.125 02/15/42	国債証券	米ドル	米国	4.1
7 T-NOTE 2.375 08/15/24	国債証券	米ドル	米国	4.1
8 T-NOTE 1.625 02/15/26	国債証券	米ドル	米国	3.9
9 T-BOND 3.625 02/15/44	国債証券	米ドル	米国	3.8
10 T-NOTE 1.625 05/15/26	国債証券	米ドル	米国	3.7
組入銘柄数	34銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

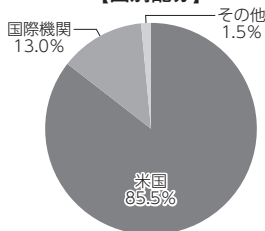
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

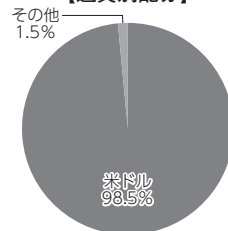
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。